

社会資本総合整備計画書
(愛知県・安城市)

令和5年1月

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年01月25日

計画の名称	豊かな水とともに生きる未来へ向けた下水道整備												
計画の期間	令和04年度 ~ 令和08年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	安城市												
計画の目標	今後も下水道サービスを継続的かつ安定的に提供するため、下水道事業に関する各種計画の策定・変更を行い、事業運営の健全化を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	332	A	332	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初		R8末
1	事業運営の健全化を図るため、下水道事業に関する各種計画の策定・変更を行う。 策定・変更した計画の数 策定・変更した計画数 ÷ 策定・変更予定の計画数 × 100	0%	%	100%
2	事業運営の健全化を図るため、汚水処理施設の統合を行う。 統合した施設数 統合済みの施設数 ÷ 統合すべき施設数 × 100	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	安城市	直接	安城市	-	-	効率的な事業実施のための 計画策定等	調査・検討等	安城市						45	-	
	A07-002	下水道	一般	安城市	直接	安城市	-	-	汚水処理施設統合	下水道と集落排水を統合	安城市						287	-	
		広域化																	
											小計						332		
											合計						332		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04				
配分額 (a)	8				
計画別流用増 減額 (b)	1				
交付額 (c=a+b)	7				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	7				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 豊かな水とともに生きる未来へ向けた下水道整備

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画（知多湾等流域別下水道整備総合計画等）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 矢作川・境川流域関連安城市公共下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 関連する他事業の計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 各種事業計画が策定され適合している。	○
I. 目標の妥当性 各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 他事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 長期的収支計画の見通しが健全と判断される。	○
III. 計画の実現可能性 関係機関との協議、住民等の合意形等を踏まえて事業実施の確実性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 その他、事業実施のための環境整備が図られている。	○

(参考図面) 社会資本整備総合交付金

計画の名称	1 豊かな水とともに生きる未来へ向けた下水道整備	交付対象	安城市
計画の期間	令和4年度～令和8年度(5年間)		

